

第1回定例会

平成22年度予算を可決（総額58億4,606万円）

町長、政策の柱に『活力と創造』を掲げる！

『活力ある産業の創造』

『活力ある暮らしの創造』

『活力に満ちた未来の創造』

平成22年第1回定例会は3月9日開会し、一般質問に4議員が登壇、21年度補正予算3件、条例の制定及び条例の一部改正13件、平成22年度一般会計予算並びに4特別会計予算（予算審査特別委員会に付託）、工事請負契約の締結3件、意見書7件等を審議、原案を可決承認し3月19日に終了した。

条例の制定

- ▼ 子ども夢基金条例の制定
子どもの健全な育成の支援及び子どもを安心して育てることのできる環境（施設整備を除く）づくりの推進を図るため、基金の設置事項を定めた。
- ▼ 農業農村整備事業の分担金の賦課徴収に関する条例の制定
町が事業主体となって実施する農業農村整備事業（土地改良法に基づかない事業）の分担金の賦課徴収に関する事項を定めた。
- ▼ 総合行政審議会条例の制定
土地利用総合計画審議会条例、総合計画画審議会条例、保健福祉推進協議会条例を廃止し、まちづくりに関する諸方策について総合的に審議するための審議会に関する事項を定めた。
- ▼ 新十津川町アートの森彫刻体験交流促進施設の設置及び管理に関する条例の制定

- ・ 旧吉野小学校の跡地及び施設を利用して、町民の教養、学術、文化の発展に寄与するための施設を設置し、その管理を指定管理者に代行させるための必要な事項を定めた。

条例の改正

- ▼ 児童生徒就学援助条例の一部改正
砂川市ことばの教室に通級する児童生徒の保護者に対し、必要な援助を実施するための改正

- ▼ 乳幼児等医療費助成に関する条例の一部改正
小学6年生までとなっていた入院に係る医療費助成を中学生まで拡大するための改正

規約の改正

- ▼ 空知教育センター組合規約の一部改正

- ・ 平成22年度より空知支庁が空知総合振興局に、幌加内町が上川総合振興局に編入することによる改正

補正予算

〔一般会計〕

歳入歳出の総額に、それぞれ3億6,482万2千円を追加し、総額をそれぞれ63億6,405万2千円とする。
主な補正は次のとおり。

▼ 総務費

- ・ 街路灯改修事業

1,435万円

（82基、ランプ交換・塗装）

- ・ 北海道市町村備荒資金組合納付金

1億円

（子ども夢基金積立財源）

▼ 商工費

- ・ ふるさと公園埋設ケーブル更新事業

2,100万円

（ふるさと公園内埋設電気ケーブルの更新）